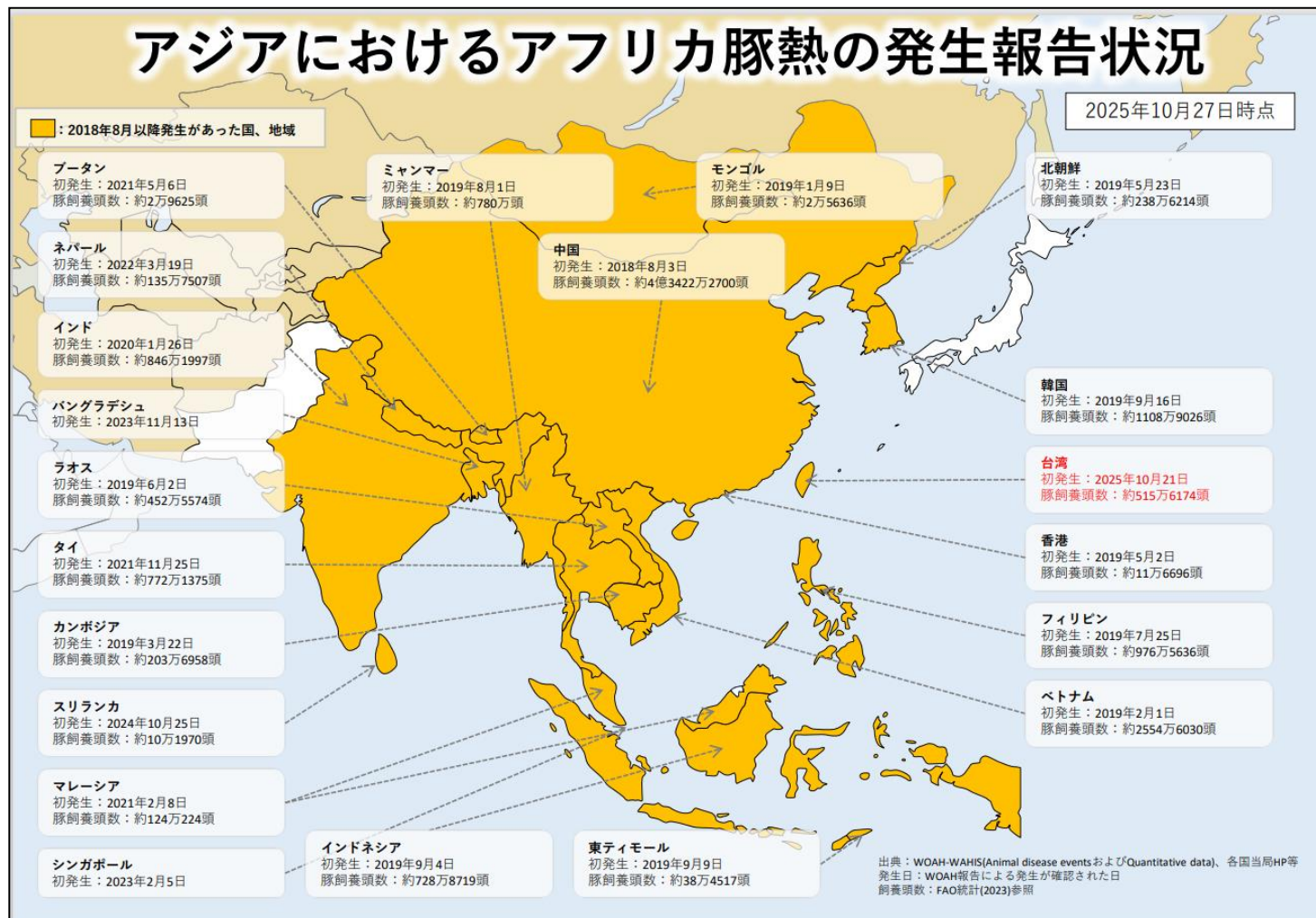


年末年始も防疫対策の徹底を！

これから年末年始の時期を迎え、人や物の動きが一層活発になることが見込まれます。豚熱は県内含め全国的に野生いのししでの感染が確認されています。また、アフリカ豚熱および口蹄疫は、中国や韓国などアジア地域に広く浸潤しています。特に、アフリカ豚熱は10月に台湾での発生が確認され、国内への病原体侵入リスクは非常に高くなっています。引き続き、農場での飼養衛生管理基準徹底をお願いします。



農林水産省 HP より

家畜に異状が認められたら、連絡をお願いします！

庄内家畜保健衛生所 0235-68-2151

(夜間・休日は携帯に転送されます)

年末年始は以下に注意してください！

1 海外からの病原体侵入リスク防止を徹底しましょう！

- ・ アフリカ豚熱等の発生している国・地域への不要不急の渡航は自粛しましょう。
- ・ これらの国・地域から外国人技能実習生を受け入れている場合は、携帯品や国際郵便による畜産物の持ち込み禁止を周知徹底してください。

2 農場への病原体侵入防止を徹底しましょう！

- ・ 関係者以外の立入りを防ぐため、農場立入禁止の看板を設置などにより注意を促しましょう。
- ・ 農場に立入るすべての関係者の車両消毒、衛生管理区域での専用衣服及び長靴の着用、手指消毒を徹底しましょう。
- ・ 野生動物侵入防止のため、防護柵、畜舎、金網やネットに破損や隙間がないか確認し、不備があった場合はすぐに修繕しましょう。
- ・ 低温下では消毒薬の効果が低下するため、消毒薬の濃度を高くする、逆性石けん製剤の場合は消石灰や水酸化カルシウム等（0.2%）を加えるなど、適切に使用しましょう。

3 異状の発見時はすぐに連絡してください！

- ・ 飼養家畜の健康観察を毎日実施しましょう。
- ・ 死亡豚や異常豚の増加など豚熱等を疑う場合は、**夜間・休日を問わず**家畜保健衛生所に連絡してください。

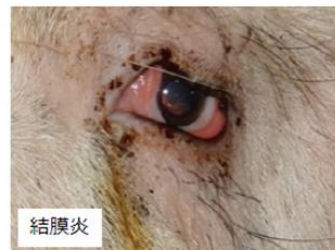
豚熱の症状（写真提供：岐阜県）



耳翼の紫斑



元気がない



結膜炎

アフリカ豚熱の症状（出典：農林水産省 HP）



死亡



チアノーゼ

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱（40～42℃）、皮下出血、脾臓の腫大、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。

庄内家畜保健衛生所：0235-68-2151